

【エクアドル経済：2008年2月】

1. 概要

- 28日、米国上院本会議は、2月29日に期限切れとなるアンデス貿易促進・麻薬根絶法（ATPDEA）の10ヶ月の延長を可決した。右決定は、エクアドル産業・企業界から喜びを持って受け入れられた。
- 21日、コロンビアと国境を接するスクンビオス県のラゴ・アグリオ市のシュシュフィンディ油田に於いて、コリア大統領が、ベネズエラから届いた掘削リグの着工式に出席した。
- 1月末から降り続く大雨の影響で土砂崩れが発生、「エクアドル横断パイプラインシステム（SOTE）」が寸断される事態が起きた。

2. ATPDEA の延長決定

28日、米国上院本会議は、2月29日に期限切れとなるアンデス貿易促進・麻薬根絶法（ATPDEA）の10ヶ月の延長を可決した。右決定は、エクアドル産業・企業界から喜びを持って受け入れられた。しかし、彼らはエクアドル政府に対し、米国との貿易関係の重要性に鑑み、ATPDEA に代替する何らかの貿易協定交渉を早急に開始すべきである旨主張している。また、モレノ副大統領は、「米国の決定は何ら驚くべきことではない。ATPDEA の延長は、我々が麻薬との闘いのために行っている努力の結果である」とした。

3. ベネズエラによる当国石油部門支援

21日、コリア大統領は、Petroecuador と PDVSA 間の協力協定に基づき、掘削リグ (Torre COV16) が当国に到着したことから、コロンビアと国境を接するスクンビオス県のラゴ・アグリオ市のシュシュフィンディ油田の Guanta 16 への同掘削リグの着工式に出席、「本日は、エクアドルのみならず、ラテンアメリカ全土にとって幸福な日である。何故なら、兄弟国の間での統合が構築されたからである。掘削リグの作動開始は、同士であるチャベス・ベネズエラ大統領の支援によるもので、我々コリア政権が政権当初に署名した協定の結果が出た」旨主張した。右協力協定は、2007年8月、当時のパレハ (Carlos Pareja) Petroecuador 総裁と、ラミレス (Rafael Ramirez) ベネズエラ・エネルギー石油大臣との間で署名されたものである。ベネズエラとエクアドルの統合及び協力の成果はこれだけでなく、3月には、グアヤキル湾で地震探査を行うベネズエラ船舶が到着予定である。なお、同着工式には、オルティス経済財務大臣、サガスティ工業・競争力大臣、チリボガ鉱山石油大臣、ビジャグラン運輸公共事業大臣、ファルコニ大統領府計画開発担当大臣等が出席した。

4. SOTE パイプラインの寸断

28日、当国で続く大雨の影響で土砂崩れが発生、キトーバエサ（Baeza）間の道路が70メートル崩れ、道路に併設されている「エクアドル横断パイプラインシステム（SOTE）」が寸断される事態が発生した。エクアドル石油公社（Petroecuador）は、（大雨の影響で）土砂崩れが発生し、キトーバエサ間の道路が70メートル崩れ、そのため、エクアドル横断パイプラインシステム（SOTE）（Kilómetro 101-800）が寸断される事態が発生した旨報告、PetroecuadorはSOTEに対する非常事態宣言を発出した。右惨事は、28日午後3時35分発生し、直ちに、SOTEパイプライン管理組織及びペトロコメルシアル非常事態プラン（Plan de Contingencia de la Gerencia de Oleducto y Petrocomercial）を始動、パイプラインのバルブを閉じるとともに、事故発生地域を隔離し、修復を行うための技術者が派遣された。

（当館注：3月3日、SOTEは稼働を再開し、当国の原油輸出が減少する等の事態は避けられた。）

5. 水力発電所建設

（1）7日、当国最大の水力発電所建設のために、当国国営電力会社のTermopichinchaと亜のENARSAが「株式会社Coca Codo Sinclair（Coca Codo Singlair S.A.）」を設立した。コリア大統領は、同社の設立のためのエクアドルの鉱山石油省と亜の連邦企画・公共投資・サービス省間の二国間協定署名式において、「Coca Codo Sinclair水力発電所建設によって、エクアドルは、1バーレル当たり80米ドルに上る石油製品を（火力発電のために）消費することを止め、年間1,360百万ドルを節約することが可能となる」旨述べた。同署名式には、当国側より、モレノ副大統領、モスケラ電力・代替エネルギー大臣、また、亜側よりデ・ビド（Julio De Vido）連邦企画・公共投資・サービス大臣及びエスピノサ（Exequiel Espinosa）ENARSA総裁等が出席した。

（2）国家電力審議会（CONELEC）によれば、Coca Codo Sinclair水力発電所は1500MWの発電量を有することとなる。また、本発電所建設予定地は、地理学的及び火山学的に最も危険の少ない所である。同発電所は、（ナポ県、スクンビオス県及びオレジャアナ県に位置する）コカ川（Rio Coca）に建設され、総面積は3,600haである。コリア大統領は、「本発電所建設は、適切な方法を以て将来の電力需要に応じ、また、近隣諸国に電力を輸出することも可能にするであろう国家の高いインタレストを有した優先案件である。また、本発電所建設は、環境への否定的影響を最小限に止める環境面に配慮されたプロジェクトである」旨述べた。

6. エクアドル石油公社における新下部組織の設置

29日、エクアドル石油公社取締役会（Directorio de Petroecuador）は、Petroecuadorの下部組織として、新たに「環境・社会責任・安全・衛生副総裁局（Vicepresidencia Ambiental,

Responsabilidad Social, Seguridad y Salud)」の設置を決定した。チリボガ鉱山石油大臣は、「コレア政府は、Petroecuador が、環境及び社会的責任を果たしつつ、石油生産を行うことを約す」旨述べた。同局の本年予算は、55.8百万ドルとなっている。Petroecuador には、すでに、Petroproduccion 副総裁局、Petrocomercial 副総裁局、Petroindustrial 副総裁局が存在しており、今次機構改革で4つ目の副総裁局が設置されたこととなる。

(当館注：4月4日、環境・社会責任・安全・衛生副総裁に、バスケス (Brummel Vazquez Bermudez) 氏が就任した。)